

# いわて平泉米だより

令和5年12月号

## 管内産の米粉を使った スイーツ試食会が開催されました

岩手県政150周年記念スイーツ試食会が11月27日、盛岡市で開かれ、達増拓也知事やJA佐藤一則専務、料理専門学校の学生、一般公募モニターの約150人が、県内の菓子店15社が試作した米粉を使ったスイーツを試食しました。

このスイーツ試食会は岩手県菓子工業組合が主催し、JAが「金色の風」と「こがねもち」を提供しました。菓子店が趣向を凝らした大福やカップケーキ、スフレなど多彩なスイーツが紹介されました。

JA管内から、松栄堂（一関）、菓子処おざわ（花泉）、千葉恵製菓（平泉）、ほしのほほえみ（藤沢）の4社が参加。今回の試食会のアンケート結果をもとに改良され、商品化を目指しています。商品化されることで、米の消費拡大につながることを期待されます。



米粉を使った多彩なスイーツを紹介



菓子店15社の試作品



スイーツの試食や感想をメモする参加者